

日韓少女まんがにおける擬態語の対照研究：精神的 衝撃を受ける様子を表す擬態語を中心に

李, 大年
九州大学大学院比較社会文化学府

<https://doi.org/10.15017/4494695>

出版情報：比較社会文化研究. 25, pp.87-102, 2009-02-20. Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

- 擬声語：生物の音を表すもの。
 - 擬態語：音を立てないものを、音によって象徴的に表す言語。
 - 擬態語：無生物の状態を表すもの。
 - 擬容語：生物の状態（動作容態）を表すもの。
 - 擬情語：人間の心の状態を表すようなもの。
- 浅野、金田一編『擬音語・擬態語辞典』
(1985：4)

擬音オノマトベ

- 擬声語：動物の鳴き声や人間の声を模倣して作られた語。
- 擬音語：声以外の、自然界の物音を模倣して作られた語。

擬態オノマトベ

- 擬態語：動作の様態や事物の状態や事物の状態を象徴的に描写して作られた語。
- 田守 (2002：5-6)

韓国語の場合

[一] 一分類

의성어 (擬声語)

- 상징어 (象徴語) 넓은 의미-언어 기호의 음성 형식과 그 의미 내용과의 사이에 필연적인 관계가 성립하는 일군의 단어를 총칭하며 (이를 상징어라고 한다). (広義-言語記号の音声形式とその意味内容の間に必然的な関係が成立する語を総称して象徴語。)
 - 흉내낸 말 (まねることば) 좁은 의미-사물의 소리를 흉내 낸 말을 가리킨다. (狹義-事物の音の真似をすることばをさす。)
- 『국어국문학사전』
(『国語国文学辞典』) (1974)

의성의태어 (擬声擬態語) : 소리나 모양을 언어형식으로 본떠서 표현하되, 그 언어의 음운체계에 속하는 일정 부류의 자음이나 모음이 교체되어도 의미의 변화를 일으키지 않고 뉘앙스 차이만 갖는 어휘 소이다. (音又は様態を言葉形式でまねて表現し、その言語の音韻体系に属す一定の部類の子音と母音が交替しても意味の変化は起こらず、ニュアンスの違いのみみられる語。)

신중진 (Sinjungjin) (1998：8)

[二] 二分類

의성어 (擬声語) : 사물의 소리를 흉내 낸 말. (事物の音の真似をすることば。)

의태어 (擬態語) : 사람이나 사물의 모양이나 움직임을 흉내 낸 말. (人間や事物の模様、動きなどの真似をすることば。)

『표준국어사전』(『標準國語辞典』) (1999)

의성어 (擬声語) : 자연의 소리를 본떠서 만들어진 것이다. (自然の音をまねて作られたもの。)

의태어 (擬態語) : 대상의 모습을 본떠서 만들어진 것이다. (対象の模様をまねて作られたもの。)

윤희원 (Yunhuiwon) (1993：14)

소리흉내말 (音真似ことば) : 자연계의 소리를 그와 유사한 음성으로 모방한 단어. (自然界の音をそれと類似した音声で模倣する語。)

모양흉내말 (模様真似ことば) : 소리 이외의 모양이나 상태를 특정한 음운으로 모방한 단어. (音以外の模様や状態を特定の音韻で模倣する語。)

박동근 (Bakdonggeun) (1997：4)

소리흉내말 : 무별성인 자연이나 동물의 소리와 유별성인 사람의 음성 자체가 가지는 청각적인 영상(개념)을 그대로 분절음소로 떼베끼는 말. (自然などの動物の声や人間の音声自体が持つ視覚的映像(概念)をそのまま音素に写す語。)

모양흉내말 : 어떤 상태나 움직임 등의 모양인 시각영상을 청각영상으로 바꾸어 분절음소로 떼베끼는 말. (ある状態や動きなどの模様である視覚映像を聴覚映像に変え、音素に写す語。)

김홍범 (Gimhongbeom) (1998：105)

[三] 三分類

의성어 (擬声語) : 사물의 소리를 모방한 단어. (事物の音を模倣する語。)

의태어 (擬態語) : 사물의 상태나 모양을 모방한 단어. 인간의 오감 가운데 청각을 제외한 시각, 미각, 후각, 촉각에 의하여 모방한 단어 들을 모두 가리킨다. (事物の状態や模様を模倣する語。人間の五感の中で聴覚を除いた視覚、触覚、味覚によって模倣する語を指す。)

의정어 (擬情語) : 인간의 심리 내용을 모방한 단어. (人間の心理内容を模倣する語。)¹

남풍현 (Nampunghyeon) (1993：93)

定義からみると、擬音語と擬態語は音声象徴的特徴を持つ語彙であるといっても、擬音語と擬態語とは音と意味との結びつきの必然性の程度に大きな差がある。擬音語は人や動物の出す声や自然現象や事物の音を「写した」もの或いは「まねした」もので、音と意味との結びつきは直接的である。一方、擬態語は擬音語に比べ、音と意味との関係の必然性が乏しい。それは人や動作や物の様態など本来音を持たない事象を言語音で表現するからである。

1.2 日韓擬音語擬態語の数

日本語には擬音語・擬態語が非常に多い。表1をみると辞典によって収録されている擬音語・擬態語総数がそれぞれ違うが、2000語~4500語収録されていることが分かる。それに対し、表2をみると韓国語の場合、2000語~8800語の擬音語擬態語が収録されている。その数は擬音語・擬態語が豊富な日本語をはるかに超えている。さらに、表3のように擬音語より擬態語の数が多くということに驚く。

表1 辞典に収録されている日本語の擬音語・擬態語総数

編著者	辞典名	総数
阿刀田稔子・星野和子編 (1993)	擬音語・擬態語使い方辞典	2046語
飛田良文・浅田秀子編 (2002)	現代擬音語擬態語用法辞典	1064語
山口仲美編 (2003)	暮らしのことば擬音・擬態語辞典	2046語
小野正弘編 (2007)	日本語オノマトペ辞典	4500語

表2 辞典に収録されている韓国語の擬音語・擬態語総数

編著者	辞典名	総数
安田・孫編 (1988)	エッセンス韓日辞典	2348語
한글학회編 (1992)	우리말 큰 사전 (韓国語大辞典)	3627語
박용수編 (1989)	우리말 갈래사전 (韓国語分類辞典)	3863語
朝鮮語研究会編 (1971)	조선말 의성의태어사전 (朝鮮語擬声擬態語辞典)	3780語
延辺言語研究所編 (1982)	조선말 의성의태어 분류사전 (朝鮮語擬声擬態語分類辞典)	8286語
青山編 (1990)	朝鮮語象徴語辞典	8800語

表3 韓国語の擬音語、擬態語数²

辞典名	擬音語	擬態語	総数
우리말 갈래사전 (朝鮮語分類辞典) 編 (1989)	1104語	2759語	3863語
조선말 의성의태어분류사전 (朝鮮語擬声擬態語分類辞典) (1982)	2129語	6157語	8286語

1.3 先行研究の問題点

今までの研究をみると擬音語やオノマトペの音韻形態的特徴の研究が中心となっており、擬態語の研究は少ない。また、定義や特徴などが異なる擬音語やオノマトペの特徴として考察される傾向がある。

オノマトペは、フランス語の onomatopée から借用した外来語であり、英語では onomatopoeia といういずれも「命名する」というギリシャ語 onomatopoiia (onoma 'name'+poiein 'to make') に由来する。しかしながら、先行研究においては擬態語という用語のないフランス語や英語から借用したオノマトペの定義と理論を直接日本語や韓国語の擬音語・擬態語の研究に当てはめる場合が多い。その理由として挙げられるのは、擬音語と擬態語は分ける必要がない或いは分けられないということである。例えば、例(1)や(2)のように前後に説明を加えると、音を表すのかまたは様子を表すのかが分かるが、例(3)、(4)のように音と様子を同時に表す場合、擬音語か擬態語か判断し難い。それは例(3)、(4)のように音を表す場合、その動作或いは様態が同時に表れることが多く、複数の要素が含まれている全体的場面を描写することになるからである。

なお、例(5)をみると、「がーん」の意味が a の「衝突音」から b の「耳ががーんとなる」に広がり、c の心理を表す

「頭ががーんとなる」に広がったと考えられる。

また、例(6)をみると、「噺」の意味が例 (6a) の「大きい音」から例 (6b) の「구멍이 뻥 뚫어졌다」のように物に穴が開いたという意味に広がり、例 (6c) の「가슴에 구멍이 뻥 뚫어졌다」のように心理を表す意味に広がったと考えられる。

例(7)をみると、心理を表す場合、元々の音や様を表す意味が薄くなっていることがわかる。

以上述べたように、本研究では一つの音象徴的特徴を持つ語彙が擬音語か擬態語かという問題より、文脈や場面によってその意味と使い方について調査分析する。

- (1) a. 廊下を**ばたばた**と走り回る音が聞こえてきた。(音)
 b. **ばたばた**というオートバイの音がしてそば屋の出前が来た。(音)
 c. 仕事を**ばたばた**と片付けて飲みに行った。(様)
- (2) a. 방울이 **달랑달랑**(Dallangdallang) 소리를 낸다. (鈴が Dallangdallang 音がする。)(音)
 b. 귀고리가 **달랑달랑**(Dallangdallang) 흔들린다. (ピアスが Dallangdallang 揺れる。)(様)
- (3) **ばたばた**と走る。(音+様)
- (4) 방울이 **달랑달랑**(Dallangdallang) 흔들린다. (鈴が Dallangdallang 揺れる。)(音+様)

- (5) a. ガンという衝撃音とともに列車は急停車した。(音)
 b. 至近距離で鉄砲を発射されたので、しばらく耳がガンと鳴っていて何も聞こえなかった。(音+様) (辞典によって異なる)
 c. 彼急死。聞いたとたん頭に血が上ってガンと鳴り出した。(様+心理)
 d. がーん。一時間も寝過ごした。飛行機に乗れない。(様+心理)
- (6) a. 풍선이 뽕 (Ppeong) 터져버렸다. (風船が Ppeong 破れた。)(音)
 b. 물초롱에 구멍이 뽕 (Ppeong) 뚫어졌다. (バケツに穴が Ppeong 空いた。)(様)
 c. 가슴에 구멍이 뽕 (Ppeong) 뚫어졌다. (胸に穴が Ppeong 空いた。)(様+心理)
- (7) a. 가슴이 덜컹 (Deolkeong) 내려앉았다. (聴覚+視覚→心理)
 (直訳：胸が Deolkeong と落ちる。→意味：どきっとする。)
 b. 자식 때문에 속을 바글바글 (Bageulbageul) 끓였다. (聴覚+視覚→心理)
 (直訳：子供の事で心が Bageulbageul 沸騰する。→意味：苦惱・苦勞)
 c. 그는 엄마 생각을 하며 홀쩍홀쩍 (Huljjeokhuljjeok) 울었다. (聴覚+視覚→心理)
 (直訳：ママのことを思い出して Huljjeokhuljjeok 泣く。→意味：しくしく泣く)
 d. 컴퓨터 오락이 하고 싶어서 손이 근질근질 (Geunjil-

geunjil). (感觸→心理)
 (直訳：ゲームがやりたくて手が Geunjilgeunjil 痒い。→意味：やりたくて我慢できない。)

2 本研究における擬態語

本研究では、音象徴的特徴を持つ語彙を総称擬音語・擬態語とする。

擬音語と擬態語の判断は、その文脈や場面の意味に基づいて行う。

擬態語の定義

野間 (1990:24) の定義に従い、音のしないものを、あたかも音のするごとくに、言語音によって描き出す語を擬態語とする。

少女まんがにおける擬態語の定義

少女まんがにおいて独立し、文法制約もなく、統語機能も果たさない音のしないものをあたかも音のするごとくに、言語音によって描き出す語を擬態語とする。

(絵1を参照)



絵1 少女まんがの擬態語の説明

3 調査対象と調査方法

3.1 用例と場面の選択

① 辞典の意味

先行研究によく使用されている辞典や擬音語・擬態語が数多く収録されていること、或いは、例文が多く挙げられているという理由で選択した。(100頁-101頁の参考辞典参照)

② 文学作品の例文

本研究では、辞典の意味だけではなく、精神的衝撃を表す擬態語の用例を検索する。日本語の場合は、収録作品数が7398であるデータから用例を検索し、韓国語の場合は、

KAIST の用例を利用し、日韓笑いを表す擬態語の意味分析をより分かりやすくする。また、場合によって参考辞典の例文や新聞コラムの用例なども利用する。³⁾

③ 少女まんがの場面

擬音語、擬態語はマンガに身を預けることを通じて大きく成長し、語彙の範疇を次々と増やしてきた。それと同時に、マンガの表現力をより発展させた。また、マンガの擬音語、擬態語はどういう場合、どのように使用されているのか分かるようになってきている。特に擬態語の場合、動作だけではなく、心理を描写するものが多いので、マンガの絵と場面、会話などの補助説明でその意味が理解しやすい。

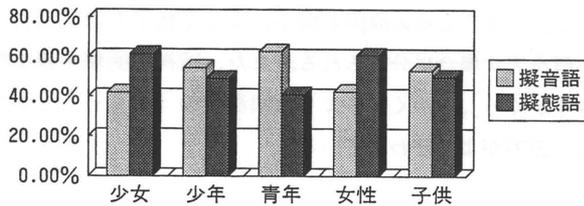
陳佳雯 (2004: 51) によると、少女まんがには擬態語がよく使われていると指摘している。(図1 読書層からみる擬音語・擬態語の使用率を参照)

本研究では、少女まんがの絵、場面を取り入れ、精神的衝撃を受ける場面を用いて感情や心理を表す擬態語の意味分析を試みる。少女まんがを選ぶ際の基準は以下のとおりである。

日韓少女まんがの選択基準

マンガの刊行時期の年代差を避けるため、2000年から2005年の間に刊行された日韓少女まんがの中で日韓各30冊を選び、さらに作者による擬態語の個人差を避けるため、同じ作者の作品は一回以上使わないこと、連載のものは1冊のみ選ぶことにした。また、考察を行うため、マンガ『NANA』の日本語版1巻～10巻、韓国語版1巻～10巻を使用する。本研究では先行研究における調査対象と方法の問題点を踏まえていろいろ工夫したが、全ての問題を克服したとは言い難いことをあらかじめ断っておきたい。

図1：読書層からみる擬音語・擬態語の使用率



3.2 感情や心理を表す擬態語の分類

小野正弘編 (2007) 『擬音語・擬態語4500 日本語オノマトペ辞典』は、感情・表情を表す擬音語・擬態語を以下のように分類している。

感情・表情

笑う 泣く 浮き立つ 怒る・腹を立てる
 気落ちする 驚く 逸る 励む
 慌てる・もがく ためらう・ひるむ
 恐れる・脅える 感じる 仕方・やり方 性向

尚学図書編 (1991) 『擬音語・擬態語の読本』は、感情・感覚を表す擬音語・擬態語を以下のように分類している。

感情・感覚に関するオノマトペ

笑う 泣く 怒る・不機嫌・無愛想 元気がない
 喜ぶ 驚く
 あわてる・もがく・落ち着かない
 ためらう・ひるむ 思う・感じる 痛む

남영신(1988) 『朝鮮語分類辞典』感情を表す擬音語・擬態語は以下の分類に入っている。

웃음과 울음 동작 인격, 지성 기운, 기분 생리
 적 작용, 두려움

日本語の場合は、「気落ちする」、「元気がない」などの分類の中に精神的衝撃を受ける様子を表す擬態語が含まれている。それに対して韓国語の場合は精神的衝撃を表す擬態語がない。何故なのか、精神的衝撃を表す場合どう表現するのか等の疑問点について第4章で詳細に説明する。

本研究では、感情、表情、心理など人間の心的状態を表す擬態語の中で、精神的衝撃を受けて落胆する様子を表すものを選定する。100頁-101頁の参考辞典に「精神的に衝撃を受ける様子」という意味に記述されている語、或いは同様な意味に記述された語を選定する。

4. 調査結果

4.1 日本語の場合

日本語の場合、精神的衝撃を表す擬態語を「がーん」と「がくっ」など二種類に分けることができる。

がーん

かくっ、がくっ、がくり、かくん、かくかく、かく、がくん、がっくり、ガクン、がくーっ、がく、がっかり

① 「がーん」の意味分析

1. 硬くて重い物が衝突したときに出る、濁って低く長く響く音を表す。
2. 激しく衝突したことによって強い衝撃を受ける様子を表す。
3. 精神的に強い衝撃を受ける様子。

- (8) がーんという衝撃音とともに列車は急停車した。(列車:物)(音)
- (9) a. 至近距離で鉄砲が発射されたので、しばらく耳ががーんと鳴っていて何も聞こえなかった。(音→耳)(音)
 b. 手が奴の横っ面へ届かない先に私の耳ががーんと鳴った。(音+様)
- (10) a. (相撲)頭でがーんと当たって一気の押し出し。(相撲:相撲)(様)
 b. 暴漢に頭をがーんと殴られた。(物;頭)(様)
- (11) a. 彼急死。聞いたとたん頭に血が上ってがーんと鳴り出した。(死亡→精神)(様+心理)
 b. がーん。一時間も寝過ごした。飛行機に乗れない。(遅刻→精神)(様+心理)

例文(8)のように衝突音を表す場合は意味1になり、例文

(9) 「耳ががーんと鳴る」の場合は辞典によって音を表すのか或いは音と様を同時に表すのかに分けられている。例文(10)をみると、例文(10a)「がーん」と「当たる」の場合は「相撲」対「相撲」であり、例文(10b)「がーん」と「殴られる」の場合は「物」対「頭」であり、衝撃音より衝撃の激しさを強調している。例文(11)をみると「死亡」による衝撃を「頭ががーんと鳴る」を用いて精神的衝撃を表したり、「遅刻」による衝撃は「がーん」一文字で表したりする。例文(9)の「耳ががーんと鳴る」と例文(11)の「頭ががーんと鳴る」は、表現方法が非常に類似しているが、物理的衝撃によるものなのか或いは精神的衝撃によるものなのかによって意味が異なる。

② 「がくっ」類型の意味分析

- かくっ：急に軽く力が抜けたり、落胆するさま。
- がくっ：ものが瞬間的に激しく欠落したり、落胆したりするさま。
- がくーっ：「がくっ」の強調形。
- がくり：ものが急に折れたり、取れたり、抜けたりするさま。勢いを失ったりするさま。
- がっくり：張り詰めた気が一時ゆるんで、元気が抜けるさま。
- かくん：急に力が抜けたり、拍子抜けするさま。
- かっくん：「かくん」の強調形。
- がくん：衝撃を受けて一気に弱るさま。
- がっかり：ひどく落胆し失望したさま。

- (12) a. 沖へ出たとたん船がかくんと揺れた。(波→船) (様)
- b. ふいに後ろから押されて膝がかくんとなった。(押される→膝) (様)
- (13) a. 花は茶色くなってガクツと首を折っている。(折られる→花の首) (様)
- b. 容疑者は自白したあと首をがくっとうなだれた。(自白→首) (様+心理)
- (14) a. 夜道で小さな穴に足をとられて、がくっとなった。(穴→膝・足首) (様)
- b. 駅の階段を登っていて、がくっとなった。(不注意・押される・疲労?→膝・足首) (様)
- (15) 田中、お前今期も補欠だぞ「ガクツ」。(補欠→首・膝) (様+心理)
- (16) a. がっくりと急に気落ちのした感じ。(精神的衝撃→気落ちする) (様+心理)
- b. 思いもかけない結末を迎え、がっくりときた。(精神的衝撃→気落ちする) (様+心理)
- c. 落ち込んで両膝をがっくりと折って坐り込む。(精神的衝撃→両膝) (様+心理)
- (17) a. あっ、階段を駆け下りたら足首がかくんとなった。(駆け下り→足首) (様)
- b. 自動車事故に遭い、首がかくんとなってムチ打ち症になった。(事故→首) (様)
- (18) a. 釣り始めて…そのうちの1本がガクン!と鳴って、激震がきたのである。(魚→釣り竿) (様)

- b. 売り上げもガクンと減った。(不景気→売り上げ) (様)
- c. 二学期に入って成績がかくんと落ちた。(勉強不足・悩み→成績) (様)

- (19) 長い闘病生活に加え、不治の病と知ったとき、その患者はかくんと気力を失った。(不治の病→気力を失う) (様+心理)
- (20) a. 大学入試に不合格の通知をもらった、あ、がっかり。(不合格→落胆) (様+心理)
- b. 雨のために遠足が中止となり、がっかり。(雨→失望) (様+心理)

意味からをみると、「かくん」は急な動き、「かくっ」はより瞬間的な動きを表している。「がくっ」は「かくっ」より激しく、「がくーっ」は「がくっ」の強調形である。「かくん」は「がっくり」に比べやや衝撃が強く、急な場合を表す。「がくっくん」は「かくん」の強調形である。

例文(12)~(20)をみると、力が抜けて「首」、「膝」、「足首」など関節が急に曲がるという動作で衝撃を受ける様子を表す場合が多い。また例文(13)のように「首をがくっと折る」場合、その原因が物理的原因なのか又は精神的衝撃によるものなのかによって様子を表す場合と心理を表す場合などに分けられる。さらに例文(17)と例文(19)を比べてみると、「かくん」の場合もその原因が何かによって様子を表す場合と心理を表す場合に分けられる。また、精神的衝撃を表す場合「かくっ」、「かくん」より語頭濁音の「がくっ」、「がくん」の方がよく使われている。

③ 少女まんがの場合

日本少女における精神的衝撃を表す擬態語「がーん」と「がくっ」などの使い方を調べてみると絵2、絵3のように、精神的衝撃を受ける場合、目、口など顔の表情を大げさに描いたり、「がーん」を大きく描いたり、点、斜線などを加えたりして精神的衝撃の強さを強調している。つまり、絵3のように少女まんがの場合「一日中彼のために部屋中を掃除した私に対して「なんじゃそら」と非難する彼、それを聞いたとたん頭に血ががーんとなり、精神的衝撃を強く受けた。」と長く続く文章を擬態語「がーん」を用いて簡潔に表現することができる。少女まんがにおいて擬態語「がーん」は元々の意味以上の役割を果たしていると言っても過言ではない。



絵2 「がーん」



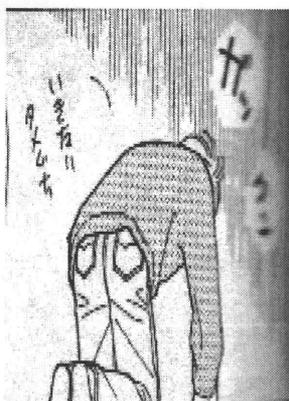
絵3 「ガーン」

絵2：場面—目の前の大勢の人を見て衝撃を受ける様子。「がーん」

絵3：場面—1日中掃除をしたのに、彼氏に笑われて精神的衝撃を受ける様子。「ガーン」



絵4 「がくっ」



絵5 「ガクッ」



絵6 「ガクッ」

絵4：場面—マッサージがうまくできなくて、精神的衝撃を受けて落胆する様子。

がくっ (両膝折って坐り込む)

やっぱり違ったかあ...

マッサージできるのはいつの日なのか...

絵5：場面—大人が初対面の子供に無視され、衝撃を受ける様子。

ガクッ (両膝折って坐り込む)

いきなりタメぐち

絵6：場面—一人の言いなりになったことに、精神的衝撃を受ける様子。

千愛：や...やらせて頂きます。その勝負...

先輩：よろしくな 千愛

千愛：負けた... ガクッ (首をうなだれる。)

4.2 韓国語の場合

韓国語の場合、辞典の意味記述上、「精神的衝撃を受けて落胆する様子」を表す擬態語はない。では何故なのか、その理由は何だろうか、精神的衝撃を受ける場合どのように表現しているのかを意味、用例、少女まんがの場面等を用いて調べてみる。その結果、「頭」の痛みを表す擬態語、「目」の様子を表す擬態語、「胸」が動悸する様子を表す擬態語、「肩」を落とした無気力な様子を表す擬態語、「足」や「体」がよろよろする様子を表す擬態語、「目眩」がする

様子を表す擬態語など身体の一部を用いて精神的衝撃を受ける様子を表していることが分かる。また、擬音語が擬態語になるなどマンガ独特な表現方法がみられる。つまり、韓国の場合日本語の「がーん」、「がくっ」のような精神的衝撃を受ける様子を表す擬態語はないが、動作を表す擬態語を用いて精神的状態を表すことができる。

少女まんがの場合

① 動作を表す擬態語

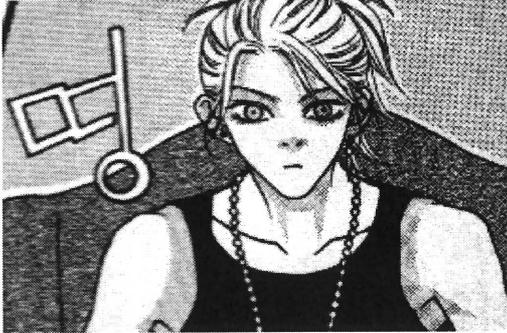
「一」 「頭」の痛みを表す擬態語

띵 (Tting)

띵 (Tting) の派生語: 덩 (Ding), 띵-오-(Tti-ng-), 띵 (Tti), 땡 (Deng)

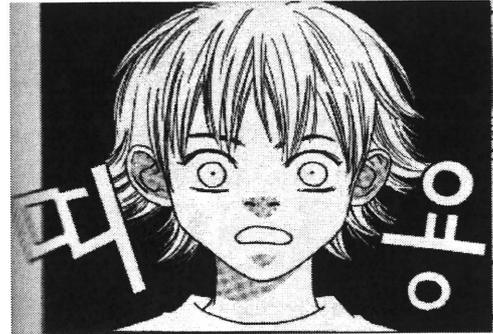
띵 (Tting)

- 1 奥深く痛いさま。
- 2 頭が痛くて、ぼっとするさま。



絵7 「띵 Tting」

- (2) a. 팔빙수...머리가 띵(Tting)~가슴이 땡~할 정도로 시원하더군요. (直訳: アイスを食べたら...頭が Tting~胸が Ppeong するほど冷たいよ。→意味: 頭が痛い)
- b. 머릿골이 띵(Tting) 울리다. (直訳: 頭が Tting 響く。→意味: 頭が痛い)



絵8 「띵 Tting」の派生語 「띵용 Ttiyong」

絵7、絵8: 場面—精神的衝撃を受け、頭がぼっとする様子。

辞典の意味をみると、頭痛の原因が病気など生理的痛みによるものなのか、精神的衝撃によるものなのかについては詳しく述べてない。例文 (21) をみると、例文 (21a) は冷たい物を食べて頭が痛くなる場合、例文 (21b) は頭が響くように痛い場合だが、その原因については詳しく述べてない。それに対して少女まんがの場合は、絵7~絵8のように、精神的衝撃を表す場面に使われている。

「二」 「目」の様子を表す擬態語

生氣ない目: 쨍 (Kweng) 派生語: 쨍 (Kwaeng)

쨍 (Kweng) -하다.

(눈이)옴푹 들어가고 정기가 없이 크게. (大きい目が凹んで生氣ない。)

- (2) a. 아프리카 어디의 빼빼 마른 어린 것들의 쨍(Kweng)한 눈매도 떠올랐다. (アフリカのどこかの痩せ果てた幼い子供の生氣ない目が思い浮かぶ。)
- b. 청화는 흡사 백치가 되더라도 한 것처럼 쨍(Kweng)하게 커진 눈으로 앞만 멀거니 보면서 (彼女はまるでバカになったように生氣ない大きい目で前をぼっと見つめて...)
- c. 얼굴이 백지장 같아지고, 눈은 쨍(Kweng)하게 커졌다. (顔は真っ青、目は生氣なくて大きくなった。)
- d. 불이 우뚝 들어갔고, 눈은 쨍 (Kweng) 하게 컸고, 눈 가장자리는 푸른 빛이 들었다. (凹んだ頬, 生氣ない大きい目、目の周りは青く光っている。)

以上のように 쨍 (Kweng) は、大きくて生氣ない目を表す動詞の語幹だが、韓国少女まんがには目の急激な変化を用いて精神的衝撃を受ける様子を表す。

「三」 「胸」が動悸する様子を表す擬態語

첼렁 (Cheolleong)

- a. 1 그릇 찬 물 따위가 큰 물결을 이루며 넘칠 듯 흔들리는 소리. 또는 그 모양. (広く深く溜まった水が揺れ動く音。又はそのさま。)
- 2 어떤 일에 놀라서 가슴이 설레는 모양. (あることに驚く様子。)
- b. 1 그릇에 가득 담긴 물 따위가 작게 흔들리는 소리. (器にいっぱい溜まった水などが若干揺れ動く音。)
- 2 쇠붙이끼리 부딪쳐서 울리어 나는 소리. (鉄物がぶつかって響く音。)
- 3 마음에 크게 충격을 받아 흔들리는 모양. (心に激しい衝撃を受け、揺れる様。)

辞典の意味を調べてみると、「첼렁(Cheolleong)」の場合、以上のように a と b の二つの意味記述がある。殆どの辞典に記述されている意味が a で、b は남영신編(1992) 『우리말 분류사전(朝鮮語分類辞典)』の記述である。a と b の大きい違いは a の 2 と b の 3 にある。つまり、驚く様子を表すのか、精神的衝撃を表すのかの違いである。例を挙げて説明すると以下ようになる。

- (2) 욕조의 물을 손으로 휘저으니 첼렁 (Cheolleong) 넘친다. (音+様) (直訳: お風呂に手を入れたら Cheolleong と溢れる。→意味: 風呂の水が溢れる。)
- (2) 감방의 자물쇠가 첼렁 (Cheolleong) 소리를 내며 잠겼다. (音) (直訳: Cheolleong という音がして牢の鍵が掛けられた。→意味: カチャと鍵が掛けられる。)

- (25) a. 아이들이 장난으로 팡팡 쏘아 대는 화약총 소리에도 매번 가슴이 철렁(Cheolleong) 내려앉는 그들이었다. (慣用句→驚く) (直訳: 子供たちのいたずらでバンバンとなる火薬銃の音にも毎回胸が Cheolleong と落ちる彼らであった。→意味: 銃の音に驚く)
- b. 아내는 여전히 독사눈을 풀지 않고 빈정거렸다. 정말이지 간이 철렁(Cheolleong) 내려앉는 기분이었다. (慣用句→驚く) (直訳: 女房はまだ毒蛇のような目で睨みながらブツブツ愚痴を言っている。本当に肝が Cheolleong と落ちる気分だった。→意味: 恐妻家の恐怖)
- (26) a. "응, 두 달 전인가 수술을 했지. 오른쪽 다리를 잘랐어." 그 소리를 듣는 순간 지수는 가슴이 철렁(Cheolleong) 내려앉았다. (慣用句→驚き+衝撃) (直訳: 「うん、二ヶ月前に手術した。右足を切断した。」その話を聞いた瞬間ジスは胸が Cheolleong と落ちた。→意味: 驚きと衝撃)
- b. "뭐여? 매호씨가 들었어?" 사월의 가슴은 철렁 (Cheolleong) 내려앉는다. 하늘이 아득하고 두 다리에 힘이 쭉 빠진다. (慣用句→驚き+衝撃) (「え〜? 메호さんも聞こえたの?」彼女は胸が Cheolleong と落ちた。目眩がして、両足の力が抜けた。→意味: 片思いの彼に自分の秘密が知られたことに驚き、衝撃を受ける。)
- c. 영주의 말에 동우는 그만 가슴이 철렁(Cheolleong) 내려앉는 충격을 느꼈다. (慣用句→衝撃) (直訳: ヨンジュ의話を聞いたとたん、トン우는胸が Cheolleong と落ちる衝撃を感じた。→意味: ヨンジュの話にトン우는衝撃を受けた。)

例文(25)をみると、「철렁 (Cheolleong)」は驚く様子を表す意味に解釈されるが、例文 (26a) の場合は「手術」という情報に驚いた或いは「知人の右足が切断された」という事実に精神的衝撃を受けた、しかも「驚き」と「衝撃」の両方の意味が含まれていると解釈可能である。例文 (26b) の場合も例26(a)と同様な意味解釈が可能である。一方例文(26c)の場合は「가슴이 철렁 (Cheolleong) 내려앉는 충격을 느꼈다」のように「충격을 느꼈다(衝撃を感じた)」とはっきり書かれているので、精神的衝撃を受ける様子を表していると解釈可能である。また철렁 (Cheolleong) の場合「가슴이 철렁(胸が Cheolleong)」、「간이 철렁(肝が Cheolleong)」など慣用句として使われる場合が多い。

以上のように例文からみると文脈によって 철렁 (Cheolleong) の意味が異なるが、少女まんがの場合は、驚く様子より、精神的衝撃を受ける場面によく使われている。

以上のように「철렁 (Cheolleong)」は文脈や場面によって精神的衝撃を受ける様子表しているが、それについて辞典には殆ど触れてないことが分かる。つまり、「철렁 (Cheolleong)」の意味を再検討する必要があるのではないだろう。

「四」「肩」を落とした無気力な様子を表す擬態語

肩を落とす: 츱 (Chuk) 派生語: 츱우 (Chuuk), 츱우 (Chueuk)

츱 (Chuk)

물체가 길게 아래로 늘어지거나 처진 모양. (物が下に垂れ下がっているさま。)

- (27) a. 츱 (Chuk) 처진 어깨 (だらっと下がった両肩) (様)
b. 츱 (Chuk) 늘어진 양쪽 볼 (だらっと下がった両頬) (様)
- (28) a. 한 사람의 박수도 유도해내지 못한 자신의 노래 솜씨를 생각하자 기분이 츱(Chuk) 처지는 느낌이였다. (歌が下手→落胆) (様+心理) (直訳: 拍手一つも頂けない自分の歌唱力を思うと気分が Chuk と垂れる気がした。→意味: 氣落ちする)
b. "우리 술 한잔 마실 수 있을까?"속회는 어깨를 츱 (Chuk) 늘어뜨리며 힘 없이 고개를 끄덕였다. (精神的衝撃?→氣落ちする) (様+心理) (直訳: 「酒飲みに行かない?」彼女は肩を Chuk と落として頷いた。→意味: 氣落ちする)

例(27)の「だらっと下がった肩」や「だらっと下がった頬」のように、츱 (Chuk) は、元々物が下に垂れ下がっている様子を表す擬態語である。しかしながら例 (28a) のように「기분이 츱 (Chuk) 처지는 느낌(氣落ちする)」や、例 (28b) のように「酒の飲みに行かない」や「힘 없이 고개를 끄덕였다(元氣ない様子で頷く)」など文脈からみると落胆している様子を表す。つまり元々は心理を表す擬態語ではないが、文脈によって精神的衝撃を受けて落胆する様子を表すことができる。

「五」「足」「体」がよろよろする様子を表す擬態語

휘청 (Hwicheong), 휘청휘청 (Hwicheonghwicheong)
비틀 (Biteul), 비틀비틀 (Biteulbiteul)
흔들 (Heundeul)

휘청 (Hwicheong)

- 1 가늘고 긴 것이 탄력 있게 휘어지며 느리게 한 번 흔들리는 모양. (細くて長いものがゆっくりと一回しなう様。)
2 걸을 때 다리에 힘이 없어 똑바로 걷지 못하고 휘우듬하게 흔들리는 모양. (歩く時足が力なくて真っ直ぐ歩けずふらつく様。)
3 어려운 일에 부딪쳐 앞으로 나아가지 못하고 주춤하는 모양. (難しい事にぶつかってで前に進めず躊躇する様。)

- (29) 낚싯대가 휘청 (Hwicheong) 휘었다. 어둡고 칙칙한 수면에 가벼운 물살이 일었다. (様) (直訳: 釣竿が (Hwicheong) と曲がった。暗い水面に小波が寄ってくる。意味→釣竿ががくと鳴る。)(魚—物理的原因→曲がる)
- (30) a. 돌부리에 걸려 휘청 (Hwicheong) 쓰러질 뻔했다. (様) (石—物理的原因→こける) (小石にぶつかって Hwicheong こけそうになった。意味→どてっと倒れる。)
b. 층계를 오르느라 힘을 뺐 탓인지 순간 휘청 (Hwicheong) 몸이 기운다. (様) (階段を上がって疲れたせいなのか一瞬 Hwicheong 倒れそうになった。意味→ふらっとする。)(疲労—生理的原因→がくつ)
c. 아들이 교통사고라는 소리에 다리가 휘청 (Hwicheong) 꺾였다. (様) (直訳: 息子が交通事故にあったということ)

を聞いたとたん、足が Hwicheong 曲がった。意味→精神的衝撃を受けてがくつとする。(衝撃→心理的原因→がくつ)

한 걸음 뒤로 물러섰다. (様) (彼は衝撃を受けたように Biteul、倒れそうになったが、すぐ後ろに一歩下がった。)(衝撃→心理的原因)

비틀 (Biteul)

힘이 없거나 어지러워서 몸을 바로 가누지 못하고 이리저리 쓰러질 듯이 걷는 모양.

- (3) a. 돌부리에 걸려 그녀의 몸이 비틀 (Biteul), 쓰러질 듯 기우뚱했다. (様) (直訳：小石にぶつかって体が Biteul と倒れそうになった。意味→ふらつとする。)(石→物理的原因)
- b. 며칠 앓고 나더니 이리 비틀 (Biteul) 저리 비틀 (Biteul) 걷지를 못한다. (様) (直訳：何日間病気で倒れたためなのか、こって Biteul あっち Biteul ちゃんと歩けなくなった。意味→病気のため、足がふらふらする。)(病氣→生理的原因)
- c. 그는 충격을 받은듯 비틀 (Biteul), 몸을 가누며 서서

「휘청 (Hwicheong)」と「비틀 (Biteul)」の場合、足や体がよろっとする原因が何かによって意味が異なる。例えば石が原因の場合、「よろっとする」動作を表すが、原因が精神的衝撃の場合は「よろっとする」動作を通して衝撃を受けた心理を表している。

絵9と絵10、絵11のように韓国少女まんがの場面からみると「휘청 (Hwicheong)」と「비틀 (Biteul)」の場合、「よろっとする」動作を表すだけでなく、その動作を通して精神的に衝撃を受ける様子を強調している。



絵9 「휘청 Hwicheong」

絵10 「휘청 Hwicheong」

絵11 「비틀비틀 Biteulbiteul」

絵9：場面—学校で一番人気がある男の子に彼女ができたことに対し、片思いしている学生たちが衝撃を受ける。

男の子：설마... 설마... 아냐, 그럴리가! (まさか...まさか...違う、絶対ない!)

휘청 Hwicheong (よろっ)

絵10：場面—彼氏に別れようと言われて衝撃を受けて足がよろっとする。

女の子：...휘청 Hwicheong

絵11：場面—大好きな兄が彼女と映画を見に行く前に、留守番を頼まれた妹。

妹：그래 집 잘 보고 있어라 이거지? (ちゃんと留守番しろって?)

비틀비틀 Biteulbiteul (よろよろ)

「六」目眩がする様子を表す擬態語

핑 (Ping)、피잉 (Piing)、핑글 (Pinggeul)、핑글핑글 (Paenggeulpaenggeul)、빙글 (Binggeul)、빙그르 (Binggeureu)

핑 (Ping)

- 1 매우 빠르게 한 바퀴 도는 꼴. (すばやく一回回転する様。)
- 2 일정한 돌레를 둥글게 한 바퀴 도는 꼴. (一定の周囲を丸く一周する様。)
- 3 급자기 눈물에 눈이 피는 꼴. (急に目に涙が溢れる様。)
- 4 급자기 정신이 몹시 어질해지는 느낌. (急に眩暈がしてくらっとする気がする。)

のかまたは精神的衝撃を表すのかは文脈によって意味が異なる。

以上のように韓国少女まんがの場合、精神的衝撃を表す擬態語がないため、動作を表す擬態語や慣用句を用いて精神的衝撃を表している。また文脈によってその動作を通して心理を表すことができる。(表4 韓国語の動作+心理を表す擬態語を参照)

「핑 (Ping)」の場合、目眩の原因が病気によるものなのか精神的衝撃によるものなのかによって、回る動作を表す

表 4 韓国語の動作+心理を表す擬態語

動作	適用範囲	原因	辞典収録状況	慣用句・用法
멍 Tting	頭	生理的原因 (病気・疲労) 心理的原因 (衝撃)	収録 無	머리가 멍하다
헝 Kweng	目	生理的原因 (病気・疲労) 心理的原因 (衝撃)	収録 無	눈이 헝하다
핑 Ping	眩暈	生理的原因 (病気・疲労) 心理的原因 (衝撃)	収録 無	눈 앞이 핑 돌다.
철렁 Cheolleong	胸、肝	心理的原因 (恐怖・衝撃)	衝撃—ほぼ無	가슴이 철렁/간이 철렁
축 Chuk	肩、体	生理的原因 (病気・死亡・安心) 心理的原因 (衝撃・気落ち)	収録 無	어깨가 축 처졌다.
휘청 Hwicheong	足、下半身、体	物理的原因 (衝突) 生理的原因 (病気) 心理的原因 (衝撃)	収録 無 無	다리가 휘청거리다
비틀 Biteul	足、体	物理的原因 (衝突) 生理的原因 (病気) 心理的原因 (衝撃)	無 収録 無	몸이 비틀
핑글 Pinggeul	目、体	生理的原因 (動作・眩暈) 心理的原因 (涙・衝撃)	収録 衝撃—無	핑글 돌다. 눈물이 핑글 돌다.
빙글 Binggeul	目、体	生理的原因 (動作・眩暈) 心理的原因 (衝撃)	収録 無	빙글 돌다.

(筆者作成 100頁-101頁参考辞典を参照)

② 擬音語から擬態語への変化

「大きい音」

쿵 (Kung)、쿠쿵 (Kukung)、쿠구쿵 (Kugugung)、
쿠구구쿵 (Kugugugung)、
꽁꽁꽁 (Kwakwakwang)、꽁당 (Kwadang)、
꽁직 (Kwajik)、퐁 (Tung)、툭장 (Tukang)

쿵 (Kung)

무겁고 단단한 물건이 단단한 바닥에 떨어지거나 부딪쳐 울리는 소리.

(重くて硬いものが落ちるか、ぶつかる音。)

- (33) a. 갑자기 쿵 (Kung) 하는 소리가 들려 사무실에서 나가 보니 A군이 쓰러진 채 숨져 있었다. (急に Kung という音が聞こえたので事務室に入ってみたら A君が倒れて死んでいる。) (音)
- b. 갑자기 쿵 (Kung) 하는 소리가 들리더니 건물이 폭거져버렸다. (音) (急に Kung という音が聞こえたとなん建物崩壊された。)

韓国少女まんがをみると、擬音語を用いて精神的衝撃を表す場合がある。韓国語の「쿵 (Kung)」は、重い物が固い表面に落ちたときの音を表す擬音語で、精神的衝撃を受ける擬態語の意味は含まれてない。しかしながら精神的衝撃を受ける様子を表す場合、大きい音を表す擬音語を用いて衝撃の強さ強調している。つまり、絵13のように「쿵 (Kung)」は衝突音ではなく、精神的衝撃を表している。韓国語の「쿵 (Kung)」と日本語の「がーん」の用法は非常に類似しているが、「がーん」は衝突音の意味以外にも精神的衝撃を表す意味として日本語の辞典に収録されているので、擬態語としての使用が定着している。それに対し、韓国語の「쿵 (Kung)」の場合はマンガの独特な表現方法で辞書に収録されるほど定着してない。



絵12 콰 Kwang



絵13 쿵 Kung



絵14 がーん

絵12：場面—成績が悪い場合留年する可能性もあるということを知り、強い衝撃を受ける様子。

女の子：유~유급? 그런데 있어?

콰 (Kwang) ~~~~~ (精神的衝撃)

男の子：없어 (心理描写)

絵13：場面—娘に「ママのバカ」と言われて衝撃を受ける様子。

娘：엄만 바보야!

쿵 (Kung)

絵14：場面：目の前の信じられない状況に衝撃を受ける様子。

ど——ん

가——ん

③ 動作と衝突音の使用



絵15



絵16 콰 콰 Kwagwang



絵17 비틀 Biteul

絵15、絵16、絵17：場面—友達に嫌われ、精神的衝撃を受ける。

絵15—女の子1：그냥 이유 없어 네 존재 자체가 재수 없어! (別に、死ねばいいのに!)

絵16—女の子2：콰 콰 (Kwagwang)

絵17—女の子2：비틀 (Biteul)

女の子3：역시 부반장으로 충격이 컸군! (やっぱり女1のことでショック受けたね!)



絵18

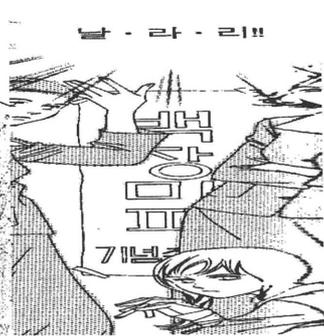


絵19 콰 Kwang



絵20 부들부들

Budeulbudeul



絵21

絵18、絵19、絵20、絵21：場面一偶然、母の高校時代の写真を発見し、衝撃を受ける。

絵18：女の子—어느날 앨범을 보다가.(ある日アルバムを見た時)

팔랑 (Pallang) (ぱらっ)

絵19：女の子—광 (Kwang) (がーん)

絵20：女の子—그건 어딜 어떻게 봐도… (どうみても…)

부들부들 (Budeulbudeul) (ぶるぶる)

絵21：女の子—날·라·리!! (ヤ・ン・キ!!)

韓国少女まんがをみると、衝撃音と動作の両方を用いて精神的衝撃を表す場合がある。絵15～17のように、「콧방 (Kwagwang)」と動作を表す擬態語「비틀 (Biteul)」を用いて精神的衝撃を受ける様子を表している。絵18～絵21は、「광 (Kwang)」と動作を「부들부들 (Budeulbudeul)」を用いて、精神的衝撃を受ける様子を表している。

「④」稻妻で衝撃

똥 (Pat) 派生語：파파 (Papat)、

파파파파 (Papapapat)

韓国少女まんが場合、「똥 (Pat)」のように、何かが光る様子を表す語を用いて衝撃の強さを強調することがある。



絵22

絵23 휘잉 Hwiing

絵24 히ゅ러러러

絵22、絵23、「휘잉 (Hwiing)」、絵24「히ゅ러러러」風の音、落ち葉で衝撃を受ける様子。

「⑤」風の音

휘 (Hwi) の派生語：휘잉 (Hwiing)、휘이잉 (Hwiing)

휘 (Hwi)

센 바람이 가느다란 물건에 부딪쳐 나는소리.
(強い風が細くて長い物にあたる音。)

絵22、絵23、「휘잉 (Hwiing)」、絵24「히ゅ러러러」は風の音、落ち葉で衝撃を受ける様子を表す。日韓少女まんがにおいて風の音を比喩的用い、心理的に強い衝撃を受ける様子を表す用法はほぼ一致する。風や落胆する様子を強調するため、一枚の落葉を加える描き方も同様である。それは、日本少女まんがの影響だと考えられる。

5. 分析結果と考察

今回の研究では、辞書の意味や用例、少女まんがの場面などを用いて、日韓精神的衝撃を受ける擬態語について調査を行った。

日本語の場合「かくん」、「かくっ」、「がくん」、「ガック

ン」、「がくっ」などは「首」、「肩」、「腰」、「膝」が「曲がる」動作だけではなく、精神的衝撃を表す意味も日本語の辞典に収録されている。それに対して韓国語の場合は精神的衝撃を表す擬態語がない。韓国少女まんがの場面からみると、「땡 (Tting)」、「쨍 (Kweng)」、「쑈 (Chuk)」、「철렁 (Cheolleong)」、「휘청 (Hwicheong)」など「頭」、「目」、「肩」、「胸」、「足」などの身体の変化や動作を通して精神的衝撃を受ける様子を表す場合が多い。つまり、衝撃を受けた人間の心の状態を表す場合、身体の変化や動作で表現していることが分かる。

また、日韓少女まんがの場面からみると、韓国語の「쿵 (Kung)」と日本語の「がーん」の用法は非常に類似しているが、「がーん」の場合は衝突音の意味以外にも精神的衝撃を表す意味として日本語の辞典に収録され、擬態語としての使用が定着している。それに対し、韓国語の「쿵 (Kung)」の場合はマンガの独特な表現方法で韓国語の辞書に収録されるほど定着してない。(絵25～絵26参照)

そして少女まんがの独特な表現方法として挙げられるのは韓国少女まんがの「똥 (Pat)」、「쿵 (Kung)」のように

国大博士学位論文)

- 신중진 (Sinjungjin) (1998) 「현대국어 의성어의 태어 연구」 『국어연구』 154
- 윤희원 (Yunhuiwon) (1993) 「의성어·의태어의 개념과 정의」 『새국어 생활』 국립국어연구원 제3권2호
- 채완 (Chaewan) (2000) 「국어 의성어 의태어 연구의 몇 문제」 『진단학보』 89 진단학회
- 許仁順 (1989) 「現代日本語의 象徴語에 관한考察—兒童漫畫를 中心으로—」 『일본학보』 第23号

参考辞書

日本語の場合

- 天沼寧 (1974) 『擬音語・擬態語辞典』 東京堂
- 浅野鶴子 (1978) 『擬音語・擬態語辞典』 角川書店
- 浅野鶴子・金田一春彦 (1985) 『擬音語・擬態語辞典』 角川書店
- 阿刀田稔子・星野和子 (1993) 『擬音語・擬態語使い方辞典』 創拓社
- 小野正弘 (2007) 『擬音語・擬態語4500 日本語オノマトペ辞典』 小学館
- 五味太郎 (1989) 『英語人と日本語人のための日本語擬態語辞典』 ジャパンタイムズ
- 尚学図書編 (1991) 『擬音語・擬態語の読本』 小学館
- 日本語教育学会編 (1990) 『日本語教育ハンドブック』 大修館書店
- 飛田良文・浅田秀子 (2002) 『現代擬音語擬態語用法辞典』 東京堂
- 姫野昌子 (2004) 『日本語表現活用辞典』 研究社
- 松村明 (1988) 『大辞林』 三省堂
- 山口仲美 (2003) 『暮らしのことば擬音・擬態語辞典』 講談社

韓国語の場合

- 남영신 (Namyongsin) (1988) 『朝鮮語分類辞典』, 한강문화사 (韓江文化社)
- 박용수 (Bakyongsu) (1989) 『朝鮮語分類辞典』, 한길사 (韓吉社)
- 조선어연구회편 (朝鮮語研究会編) (1971) 『朝鮮語擬声語・擬態語辞典』, 学友書房
- 연변언어연구소편 (延辺言語研究所編) (1982) 『朝鮮語擬声語擬態語分類辞典』 延辺人民出版社
- 青山秀夫編 (1991) 『朝鮮語象徴語辞典』, 大学書林

資料

絵の引用箇所

この論文に利用した絵及びマンガ作品と、その引用箇所は次のとおりである。

- 絵1 = 絵3、矢崎あい (2005) 『NANA』第2巻 集英社 東京
- 絵2、絵14：水上航 (2001) 『ワーキング娘。』第1巻 講談社 東京
- 絵4、絵5、絵6、絵24：椿いづみ (2004) 『親指からロマンス』第1巻 白泉社 東京
- 絵7、絵8、絵9、絵10、絵11、絵12、絵13、絵15、絵16、絵17、絵18、絵19、絵20、絵21、絵22、絵23：채안나 (Chaeanna) 조은하 (Joeunha) (2001) 『나는 사슴이다 (私は鹿だ)』 도서출판 (図書出版) 서울 (ソウル)
- 絵25、絵26：矢崎あい (2005) 『NANA』第2巻 集英社 東京

注

- 1 韓国語の定義の日本語訳は筆者による翻訳で、日本語母語話者の校正を行った。
- 2 表1、表2、表3は参考辞典の前書き等の情報に基づいて筆者が作成したものである。
- 3 日本語の用例は、1999年8月1日作成した電子図書館から検索。KAISTは、1994.10~1997.12の間韓国文化観光部と科学技術部の支援を受けつくられた用例のデータベースである。

A Comparative Study on Mimetic Words in Japanese and Korean Girls' Comics : Focusing on Mimetic Words Expressing shock

Danian LI

Japanese mimetic words are a difficult theme for Japanese learners to comprehend. Do mimetic words which appear in dictionaries, literature, and girls' comics function the same? The mimetic words used in girls' comics have unique styles and functions, and they are different from those found in dictionaries or literature. In this study, research was undertaken to examine the morphological and semantic features of mimetic words in girls' comics and to determine what should be taken into consideration when girls' comics are used for learning and teaching Japanese mimetic words.

A particular language can be described better, when it is compared with another language. In both Japanese and Korean languages, mimetic words play an important role in describing not only physical actions and states but also mental states. However, there are some differences between the kinds of words used in Japanese and Korean girls' comics.

This paper aims to reveal characteristics of Japanese mimetic words which express shock, by comparing them with those of Korean mimetic words.

I investigated 'mental shock' mainly on a popular mimetic word in this study, analyzed it and was able to grasp a whole aspect, but I was deep and was not able to study it fully. In the future, I want to include problems such as in the field of vision and push forward the study.